

- 問1 平城京から平安京へ遷都するまでの期間（奈良時代）の出来事として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれか。（2023年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|--|
| 1. 聖武天皇の命により、仏教による国家の安泰を祈願して全国に国分寺・国分尼寺が建てられた | 2. 地方の武士団が勢力を強め、関東では平将門が自ら「新皇」と称して朝廷に反旗を翻した | 3. 菅原道真の建議によって遣唐使が停止され、国風文化が全盛期を迎えた | 4. 天皇中心の政治を確立するため、聖徳太子によって冠位十二階や十七条の憲法が制定された |
|---|---|-------------------------------------|--|
- 問2 律令制度のもとでは、全国から都へ「調」や「庸」などの税が運ばれました。これらの特産品に付けられていた木の札である「木簡」の記述から読み取れる、当時の税制の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都での市場取引において、金属製の硬貨の代わりに支払いに使われる代用貨幣として機能した | 2. 文字を読めない農民に対し、仏教の教えを視覚的に伝えるための布教の道具として用いられた | 3. 地方の豪族が自身の権力を誇示するために、豪華な装飾を施して古墳に埋葬する副葬品として作られた | 4. 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた |
|---|---|---|--|
- 問3 律令時代の税制において、班田収授法に基づいて人々に割り当てられた口分田に対し、収穫した稲の約3%を納めることと定められていた税の名称を答えなさい。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|-------|------|
| 1. 調 | 2. 庸 | 3. 雑徭 | 4. 租 |
|------|------|-------|------|
- 問4 奈良時代、聖武天皇は相次ぐ反乱や疫病といった社会不安を鎮め、国家を安定させるために仏教の力を利用しようと考えました。このように、仏教の教えによって国を守ろうとする思想を何と呼びますか。（2026年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|---------|------------|
| 1. 尊王攘夷の思想 | 2. 神仏習合の思想 | 3. 末法思想 | 4. 鎮護国家の思想 |
|------------|------------|---------|------------|
- 問5 平城京の遺跡から出土した木簡には、成人男性一人の負担として「三斗の塩」が都へ運ばれた記録が記されているものがあります。このような奈良時代の税制「調」の仕組みや実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 都での土木工事などの労働に従事するか、代わりに布を納める義務であった | 2. 各地の特産物を、納税者本人が食料を自ら用意して都まで運ぶ義務であった | 3. 収穫した稲の約3%を、地方の役所にある倉庫に納める義務であった | 4. 地方の役所において、年間で60日を限度として労働に従事する義務であった |
|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問6 律令制度のもと、唐や新羅といった大陸勢力からの攻撃に備え、九州北部の防備を固めるために東国などから派遣された兵士を何と呼びますか。（2020年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 衛士 | 2. 防人 | 3. 健児 | 4. 足軽 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 古代の庶民の生活や食生活について記された資料において、当時の農民が置かれていた状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 地主から土地を強制的に買い上げた政府によって農地が安く売り渡され、自作農として自分の土地で自由に作物を作れるようになった。 | 2. 全国の土地の広さや良し悪しを調査され、収穫量を石高という単位で定められることで、年貢を納める対象として厳しく管理されていた。 | 3. 戸籍に基づき国から口分田を与えられる一方で、死後はその土地を国に返す義務があり、重い税負担の中で質素な食生活を送っていた。 | 4. 政府から土地の所有権を認められる代わりに、地価の3%を現金で納めることになり、不作の際にも納税の負担が変わらず苦しんでいた。 |
|--|---|--|---|
- 問8 10世紀の阿波国の戸籍に関する記録では、高齢者の層において女性の割合が不自然に高く、男性が極端に少ないという状況が示されています。このような歪んだ人口構成が記録された理由として、当時の社会背景を説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 頻発する対外戦争によって多くの成人男性が戦死し、実際に高齢まで生き残る男性がほとんどいなくなった | 2. 当時は女性の地位が男性よりも高く、女性にのみ広い口分田が与えられる制度であったため、女子としての登録が推奨された | 3. 男性には租・調・庸などの重い税負担があったため、死亡を隠す、あるいは性別を偽って登録することで負担を逃れようとした | 4. 男性は墾田永年私財法によって私有地の開墾が認められたため、口分田を返還して戸籍から抜ける者が相次いだ |
|---|---|--|---|
- 問9 奈良時代の文化を象徴する和歌集である『万葉集』の大きな特徴を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。 | 2. 後鳥羽上皇の命によりまとめられ、武士の台頭という社会の変化を反映した力強い歌風が中心となっている。 | 3. 聖徳太子の時代から伝わる仏教の教えを、一般の人々にも分かりやすく伝えるための教訓歌が中心である。 | 4. 紀貫之によって編纂された初の勅撰和歌集であり、ひらがなを用いた繊細な表現で貴族の生活が詠まれている。 |
|--|--|---|---|
- 問10 8世紀初頭に大宝律令が制定され、都が平城京に移された頃の日本において、国が農民の生活を把握し税を徴収する基礎とした、6歳以上の男女に土地を割り当てる制度を何といいますか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 地租改正法 | 2. 班田収授の法 | 3. 墾田永年私財法 | 4. 太閤検地 |
|----------|-----------|------------|---------|
- 問11 奈良時代、中央政府は地方の支配を強化するため、諸国に対してその地域の情報をまとめた報告書を提出させました。各地域の産物、土地の肥沃（ひよく）さ、地名の由来、そして古くから伝わる伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 万葉集 | 3. 日本書紀 | 4. 古事記 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問12 奈良時代、政府が一般の人々への布教を制限していた中で、民衆の間で仏教を広めるとともに、橋や道路、ため池の建設といった社会事業を行い、多くの人々の信頼を得た僧侶は誰ですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 空海 | 2. 行基 | 3. 日蓮 | 4. 雪舟 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 7世紀から9世紀にかけて、日本が律令などの進んだ制度や仏教文化を直接学ぶために、たびたび使節を派遣した中国の王朝はどこか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 漢 | 2. 魏 | 3. 宋 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 聖武天皇の命により、仏教による国家の安泰を祈願して全国に国分寺・国分尼寺が建てられた	平城京から平安京へ遷都するまでの期間は奈良時代にあたります。この時代、聖武天皇は仏教を深く信仰し、国ごとに国分寺・国分尼寺を造営する詔（みことり）を出しました。また、この時代には和同開珎などの貨幣も鑄造され、平城京の造営費用などに充てられました。他の選択肢は、飛鳥時代（聖徳太子）や平安時代（遣唐使停止、平将門の乱）の出来事であり、時代が異なります。
問2	答え 4 地方から都へ送る品物の内容や送り主の氏名・居住地を記録し、確実に税を徴収するための管理に用いられた	発掘された木簡には、「どの国のどの郡の誰が、何を納めたか」が詳細に記されています。これは、中央政府（朝廷）が地方からの税を正確に把握・管理していた証拠であり、律令国家による中央集権的な統治の仕組みを具体的に示す貴重な史料となっています。宗教的な道具や貨幣、古墳の副葬品としての役割は、木簡の主な目的ではありません。
問3	答え 4 租	班田収授法は、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、本人が死亡すると国に返させる制度です。この口分田の面積に応じて課せられた税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。他の税制である「調」は各地の特産物、「庸」は都での労役の代わりに布、「雑徭」は地方での労役を指します。
問4	答え 4 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代は、天然痘の流行や藤原広嗣の乱など、社会的に不安定な状況が続いていました。これらを解決するために、仏教の教えを政治に取り入れ、国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想が推進されました。その具体的な施策として、全国に国分寺・国分尼寺が建立されることとなりました。
問5	答え 2 各地の特産物を、納税者本人が食料を自ら用意して都まで運ぶ義務であった	調や庸は、地方の特産品や布を都の平城京まで直接運んで納める必要がありました。その際の道中の食料や運搬にかかる費用はすべて納税者の自己負担であったため、農民にとって非常に大きな負担となりました。木簡は、荷物の内容や送り主を証明するための荷札として、当時の物流や税制の実態を裏付ける貴重な資料となっています。
問6	答え 2 防人	奈良時代の律令制度では、大宰府が置かれた九州北部の防衛が重要視されました。東国（現在の関東地方など）から徴兵された農民が、3年間の任期でこの任務に充てられましたが、食料や武器を自ら負担しなければならず、農民にとって極めて重い負担となりました。平安時代以降に導入された地方の有力者の子弟による軍事制度である「健児」や、都の警備を担当する「衛士」とは区別されます。
問7	答え 3 戸籍に基づき国から口分田を与えられる一方で、死後はその土地を国に返す義務があり、重い税負担の中で質素な食生活を送っていた。	班田収授法によって農民には土地が与えられましたが、同時に租・庸・調や防人などの重い負担が課せられていました。当時の庶民の食事は、玄米の粥やわずかな副菜、塩などが中心の極めて質素なものであったことが、当時の記録や研究から明らかになっています。他の選択肢は、安土桃山時代の太閤検地、明治時代の地租改正、戦後の農地改革の説明です。
問8	答え 3 男性には租・調・庸などの重い税負担があったため、死亡を隠す、あるいは性別を偽って登録することで負担を逃れようとした	律令制において、男性は租だけでなく調や庸、防人などの兵役といった非常に重い負担を負っていました。一方で女性の負担は男性の3分の1程度（租のみ）であったため、税負担を回避するために男性の死亡を隠したり、男性を女性として登録する「偽籍」という行為が横行しました。この結果、戸籍上の男女比が実態とかけ離れたものになりました。
問9	答え 1 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。	万葉集の最大の特徴は、歌の作者が天皇や貴族だけでなく、東国の防人（防人歌）や農民など、身分を問わず多岐にわたっている点にあります。まだ、かな文字が発明されていなかったため、漢字を日本語の音として利用する「万葉仮名」という独特の表記方法がとられており、当時の人々の生の声を知る貴重な資料となっています。
問10	答え 2 班田収授の法	律令国家の基本的な土地・人民支配の仕組みとして確立されました。「公地公民」の原則に基づき、国がすべての人々と土地を直接支配することを目指したものです。6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の男女に「区分田」を与え、死後は国に返還させるというサイクルを繰り返しました。
問11	答え 1 風土記	奈良時代初期の713年、元明天皇の命によって諸国に編纂（へんさん）が命じられました。地方の状況を詳しく把握し、税收や統治に役立てる目的がありました。現在は「出雲国風土記」がほぼ完全な形で残っているほか、数力国の写本が伝わっています。
問12	答え 2 行基	当時の政府は「僧尼令」によって僧侶が寺の外に出て活動することを制限していましたが、この人物は民衆を救うために各地で実務的な活動を行いました。その絶大な影響力と土木技術などの専門知識は、後に聖武天皇による東大寺の大仏造立を成功させるために必要不可欠なものとなりました。
問13	答え 4 唐	日本は7世紀初めから遣隋使を送り、隋が滅んだ後は唐に使節（遣唐使）を送りました。唐の優れた政治制度や文化は、当時の日本の国づくりに大きな影響を与え、国際色豊かな「天平文化」などが発展するきっかけとなりました。